

Unit 3 グリーン先生の初授業 (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元では一般動詞の文を学習する。小学校英語活動において、生徒は一般動詞を使い様々な活動を行ってきているので、音声においては非常に慣れ親しまれている言語材料であると言える。そこで、小学校英語活動において音声中心に触れてきている生徒が、書くという活動に取り組むことにより、表現の確実な定着を図れるようにしたい。その際、ゲームの要素を取り入れることによって、楽しみながら書くことで、文字への抵抗を和らげ、書くことにも意欲をもって取り組めると考える。ゲームの要素をもった書く活動としてはビンゴがあるが、カルタにも書くことを取り入れ活動できるよう工夫する。ただ、ゲームが遊びで終わらないように、本文と関連をもった内容や自己表現活動へとつなげるような内容を工夫する必要がある。

1 目標

- ・ 自分が関心がある事柄についての情報を含めた、簡単な自己紹介ができる。
- ・ I like(play) ~.の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 趣味や学校生活について、簡単なインタビューをしたり、それに答えたりすることができる。
- ・ Do you ~?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 趣味やほしいものなどについて、簡単なインタビューをしたり、それに答えたりすることができる。
- ・ I do not~.の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。

2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) スポーツ、音楽、趣味など相手のことを知ろうとする。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して聞いている。		(正確な聞き取り) 相手の好みの内容などを正しく理解することができる。 (適切な聞き取り) 相手のインタビューに適切に応じることができる。	(言語についての知識) Do you~?の文の意味・構造を理解している。 (文化についての理解) 先生に対して you を用いて質問する文化を理解している。
話すこと	(言語活動への取組) 関心のあることについて、進んで自分のことを伝えようとしている。 (コミュニケーションの継続) 分からない語句を尋ねながら伝えようとしている。	(正確な発話) 一般動詞を正しく用いて話すことができる。 (適切な発話) Do you~?の問いかけに、適切に表現を選択して応答することができる。		(言語についての知識) Do you~?の疑問文やその答え方について強勢や抑揚を理解している。 (文化についての理解) 自分の考えを明確に表現する大切さを理解している。
読むこと	(言語活動への取組) グリーン先生と生徒の対話に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) 文の強勢や短縮形の発音など正しく音読できる。 (適切な音読) 適切な音量で読むことができる。	(正確な読み取り) グリーン先生と生徒の会話を正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) グリーン先生の内容の大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) 接続詞 but の使い方を理解している。 (文化についての理解) 英語の可算名詞・不可算名詞について理解している。
書く	(言語活動への取組) 間違えることを恐れず、自分の好き嫌いを説明する文を書いている。	(正確な筆記) 一般動詞を使って正しく説明文を書くことができる。		(言語についての知識) I like(play)~.の文の意味・構造を理解している。

こ と	(コミュニケーション の継続) 知っている表現を使 って書き続けている。	(適切な筆記) 自分のことが相手に 伝わるように必要な分 量を書くことができる。	(文化についての理解) 単数には a をつける文 化を理解している。
--------	---	---	--

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時 間	ねらい()と 学習活動()	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒 への手だて	単元の 評価規 準との 関連	具体的評価規準 A 「十分満足」 B 「おおむね満足」 (評価方法)
1	英語学習への意欲をも つ。 ① Do you know the Muffin Man?を歌う。 一般動詞の用法を理解 する。 ②教師の自己紹介を聞き、 内容を理解する。 ③ 一般動詞の意味を確認 し発音する。 ④ 練習した単語を使いピ ンゴゲームをする。 Part1 の内容を理解し、 学習した単語を使い自分 のことを表現する。 ⑤ Part1 を聞き、内容をつ かむ。 ⑥ Part1 の新出単語を練 習する。 ⑦本文の音読練習をする。 ⑧ T or F, Q and A で内容 を確認する。 ⑨ ③で学習した単語を使 い自分のことを表現し、 ビンゴシートに書き入れ る。 ⑩ 書いた英文を発表し、 ビンゴゲームをする。	Do you~?の表現を思い出せるよう にリズムを感じながら歌うよう促 す。 内容を理解できるように小学校英 語活動で慣れ親しんだ言葉やジェス チャーなどを使用するようにする。 ピクチャーカードを使うことで、 意味を推測できるようにする。 SVO の文型に気付けるように、 単語のみ読み上げるのではなく、文 の形で読み上げるようにする。 文を読み上げた後、単語カードを 示すことで確認できるようにする。 さし絵を示すことでグリーン先生 の自己紹介の場面であることを確認 できるようにし、分かったことをメ モするよう促す。 音と文字を結び付けるためにフォ ニックスを取り入れた音声指導を行 う。 繰り返し練習できるように Read and Look up など様々な読み方を行う ようにする。 読めない単語を個々に指導する。 メモしたことを確認できるように する。 書く活動に取り組めるように、9 つ動詞を選び、それを使い自分のこ とを書くよう伝える。 ④で読み上げた教師の英文を参考 に書くよう助言する。 様々な表現に気付くことができる ように、英文の発表は始めに単語だ けを選んで行うようにする。	アイウ アイウ	グリーン先生の自己紹介 を聞き、大切な部分を聞き 取ることができる。 A 自己紹介の内容を正しく 聞き取っている。 B グリーン先生の好きなこ とを聞き取っている。 (観察、メモシート) 一般動詞を使って自分の ことを書き表している。 A 自分のことを正しく英語 で書いている。 B 自分のことを英語で書き 表そうとしている。 (ビンゴシート)
	英語学習への意欲をも つ。 ⑪ Do you know the Muffin Man?を歌う。 一般動詞の復習をし、 Do you ~?の形を理解する。	歌詞の意味を考えて歌うことで疑 問文の形を意識できるようにする。		

<p>12 教師の説明を聞き、それに関する質問に答える。</p> <p>13 3の単語を使ったカルタをし Yes, I do.か No, I don't.で答え、札を取る。</p> <p>Part2 の内容を理解し Do you ~?を使い質問することができる。</p> <p>14 Part2 を聞き、内容をつかむ。</p> <p>15 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>16 本文の音読練習をする。</p> <p>17 T or F, Q and A で内容を確認する。</p> <p>18 グリーン先生を説明する文をカルタに書き、絵札と文でカルタをする。</p>	<p>質問が理解できるように、教師が自分のことを述べ、同じ話題について Do you~?を使い、生徒に尋ねるようにする。</p> <p>Do you~?で読まれた文に合う絵を Yes, I do. 合う絵がないときは No, I don't.で答えるよう伝える。</p> <p>表現を思い出せるようにプリントで確認する。</p> <p>Do you~?がどう使われているかとらえることができるように、音声のみで対話を聞くようにする。</p> <p>内容が推測できるように登場人物の絵をはり、グリーン先生について分かったことをメモするよう伝える。</p> <p>音と文字を結び付けるためにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>繰り返し練習ができるように Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>メモしたことを確認できるようにする。</p> <p>表現の定着を図るために、Part1,Part2 の内容からグリーン先生の紹介文をカードに書くよう伝える。</p> <p>ねらいとする表現にたくさん触れられるように英文カードは Do you~?で読み上げるようにする。</p> <p>自己紹介の I am~.は You are~.になることに気付けるようにする。</p>	<p>ア イ ウ エ</p> <p>ア イ エ</p>	<p>先生と生徒の会話の場面を理解し、正しく音読できる。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、イントネーションなど正しく音読できる。</p> <p>B 会話の大体の内容を理解し、意味が伝わるように音読することができる。 (観察、ワークシート)</p> <p>Do you~?の形を理解している。</p> <p>A Do you~?Are you~?を適切に用い、質問している。</p> <p>B Do you~?を用いて質問している。 (観察)</p>
<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>19 Do you know the Muffin Man?を歌う。</p> <p>Part2 を復習し、グリーン先生へのインタビュー内容を考える。</p> <p>20 生徒と先生役にわかれペアで本文の会話をする。</p> <p>21 本文の他にどんなことを尋ねたいかペアで考え、書く。</p>	<p>the の発音に気を付けて歌うよう促す。</p> <p>自然な会話を意識して行えるように教科書は見ないように伝える。</p> <p>ピクチャーカードやフラッシュカードを示し、発話を助けるようにする。</p> <p>本文に興味をもつことができるように、グリーン先生に聞いてみたいことを若葉中の生徒になりきり、ワークシートに書くよう伝える。</p> <p>表現を広げるために、質問には小学校英語活動の言語材料も使うようにする。</p> <p>ペアで相談し友達の質問を参考にしよう助言する。</p>		

3	<p>Part3 の内容を理解し、I do not ~.の用法を知る。</p> <p>22 Part2 を聞き、内容をつかむ。</p> <p>23 Part3 の新出単語の練習をする。</p> <p>24 本文の音読練習をする。</p> <p>25 TorF, QandA で内容を確認する。</p> <p>I do not ~.の形を使い、インタビュー活動を行う。</p> <p>26 本文を参考に質問内容を見直し、グリーン先生と生徒役になり、インタビューを行う。</p>	<p>本文に興味をもって聞くことができるように、自分たちの質問内容と比べるように伝える。</p> <p>音と文字を結び付けるためにフォニックスを取り入れた指導を行う。</p> <p>繰り返し練習ができるように Read and Look up など様々な読み方で練習を行うようにする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>自分たちのインタビューに生かせるようにグリーン先生の情報をもメモするよう伝える。</p> <p>本文を参考にすることで、さらに質問を加えたり、訂正したりできるようにする。</p> <p>インタビュー活動を活発にするためにグリーン先生になりきり自由に答えるよう伝える。</p> <p>興味をもって活動に取り組めるように「何でも否定するグリーン先生」という設定でも活動を行えるようにする。</p> <p>机間指導し、答えに詰まっている生徒にアドバイスする。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイウ</p>	<p>先生と生徒の会話の場面を理解し、正しく音読できる。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、イントネーションなど正しく音読できる。</p> <p>B 会話の大体の内容を理解し、意味が伝わるように音読することができる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>インタビューをしたり、答えたりすることができる。</p> <p>A 積極的に質問したり、適切に回答することができる。</p> <p>B 相手に質問したり、回答することができる。</p> <p>(観察、発表)</p>
4	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>27 Do you know the Muffin Man?を歌う。</p> <p>Do you~?を使い興味あることについてインタビューをする。</p> <p>28 クラスの生徒に好きなことや欲しい物などを尋ね、クラスのランキング調査をする。</p> <p>29 インタビューの内容を英文にまとめ発表させる。</p> <p>SVOの形を使い、表現することができる。</p> <p>30 ある人物になりきり、クイズを出題する。</p>	<p>イントネーションに気を付けるよう促す。</p> <p>表現の定着を図るために、Do you (like,play,want) ~ ?の形を使い、全員にインタビューするよう伝える。</p> <p>質問に答えやすくするために、相対するような質問(そばかうどん、夏か冬)を考えるよう促す。</p> <p>生徒の数も書き入れるよう伝え、複数形と単数形に気を付けるよう助言する。</p> <p>基本表現をしっかり理解できるように個々に指導する。</p> <p>言語材料の定着を図るために、be 動詞も用いて、「Who am I?」クイズを考えるようにする。</p> <p>ねらいとする表現を多用できるように、解答者には Do you~?でヒントの他に質問するように伝える。</p> <p>机間指導し、一緒にアイデアを考えるようにする。</p>	<p>アイエ</p> <p>アイエ</p>	<p>知りたいことを尋ねたり、分かった内容を英文にまとめることができる。</p> <p>A 正しく質問したり、書くことができる。</p> <p>B 適切な表現で尋ねることができ、分かったことを英文で書くことができる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>既習表現を用い、クイズを出題することができる。</p> <p>A be 動詞なども使い積極的にさまざまなヒントを出題している。</p> <p>B SVOの文でヒントを出題している。</p> <p>(観察、ワークシート)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案(Unit 3) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の言語材料は、一般動詞の平叙文である。小学校英語活動では一般動詞を使った活動が多く、生徒は音声の形で様々な動詞に触れてきていると言える。また、中学校英語科の Unit 1、Unit 2 の学習で、教科書本文を読む活動を行ったことにより、音と文字の関係をとらえ始めている生徒もいると考える。そこで、本時は小学校英語活動で音声として聞いてきた言葉を文字に表わすことで、書くことへの意欲を高めたい。その際、ゲーム的要素を取り入れ、楽しく活動することで、生徒が書くことをいとわないよう工夫する。今まで音声で理解していた言葉を文字でとらえることにより、確実に生徒に定着させることができると考える。

1 本時の目標

- ・ I like (play) ~ の形を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、ビンゴシート、フラッシュカード、メモシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 Do you know the Muffin Man? の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 Do you~? の表現を思い出せるように、リズムを感じながら歌うようにする。	
10	一般動詞の意味を知り、Part1 の内容を理解する。	教師の自己紹介を聞き、内容を理解する。 want, go, live, have, like, turn help, play, study, watch, eat, wash 一般動詞の意味を確認し、発音する。 練習した単語をシートに書き入れビンゴをする。	内容を理解できるように、小学校英語活動で慣れ親しんだ単語をジェスチャーを入れながら使うようにする。 定着を図るために、単語を絵と文字で示し、例文を読み上げ、用法を確認してから発音練習を行うようにする。 SVO の文型に気付けるように、単語を読み上げるのではなく、文の形で読み上げ聞き取るようにする。	
15		Part1 を聞き、分かったことをメモする。 Part1 の新出単語を練習し、l と r の読み取りと書き取りの練習をする。 light, left, library, right, rain, red 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	音声で理解できるように、教科書は閉じさし絵のみで聞くよう指示する。 意味とつづり、読み方が定着できるように、フラッシュカードを用いる。 hello, like, play の l と radio, racket の r を使い、発音の違いをとらえられるようにする。 発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 暗唱できるように Read and Look up で繰り返し練習できるようにする。 T or F, Q and A を行いながら、メモした内容を確認できるようにする。	自己紹介の内容が分かり、アクセントに気を付けて読んでいる。
20	一般動詞を使って自分のことを表現する。	学習した単語で自分のことを表現し、シートに書き入れる。 I want a video game. I play baseball. I live in Isesaki. I study English. I like pizza. I go to juku. など 書いた英文を発表し、ビンゴゲームをする。	自己表現しやすいように9つ動詞を選んで書くように伝える。 英文が書き込めるようにビンゴシートに4線をつける。 様々な表現に触れるように生徒が教師の示した動詞(単語カードを裏返しにして選ぶ)を使った英文を発表し紹介するようにする。	一般動詞を使い自分のことを書くことができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

生徒にとって Do you~?の表現は、小学校英語活動において大変慣れ親しまれている表現である。そのため、音声での活動においては言語の使用場面をとらえやすいと考える。そこで、本時ではカルタを行いながら、音声で Do you~?の復習をし、定着を図った後、本文の音読やグリーン先生の紹介文作りで、「読む」「書く」活動を取り入れたい。今まで音声で行っていたやりとりを、文字で表すことにより、表現のさらなる定着が図れるとともに、読んだり、書いたりすることへの抵抗が少なくなると考えるからである。まとめの書く活動もカルタを行い、ゲーム的要素を取り入れながら、楽しんで取り組めるよう工夫したい。

1 本時の目標

- ・ Do you ~?の文を理解し、表現できる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、カルタ

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Do you know the Muffin Man?の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 歌詞の意味を考えて歌うことで、疑問文の形を意識できるようにする。	
10	一般動詞の復習をし、Do you ~?と応答の形を理解する。	教師の説明を聞き、それに関する質問に答える。 一般動詞の絵カードでカルタをし、Yes, I do. No, I don't.でカードを取る。 want, go, live, have, eat, study, watch, help make, like, play など	内容が理解できるように、教師の自己紹介文を使い生徒に質問をするようにする。 前時に使用した一般動詞の絵カードを使い、内容を Do you~?で尋ね、あてはまるカードがある場合は Yes, I do.で、あてはまるカードがない場合は No, I don't.で答えるように伝える。	
15	Part2 の内容を理解し、グリーン先生の紹介文を書いたり質問したりする。	Part2 の内容を聞き取る。 Part2 の新出単語を練習し、b と d の読み取りと書き取りの練習をする。 bus, bee, beetle, doctor, dragonfly, dolphin 本文の音読練習をする。	Do you~?がどんな場面で使われているかを音声でとらえられるように、教科書は閉じるよう伝える。 内容が推測できるように登場人物の絵をはり、対話を聞いて分かったことをメモするように伝える。 意味とつづり、読み方が定着するようにフラッシュカードを用いる。 by, bike の b と do, day の d を使い、文字の違いをとらえることができるようにする。 書き取り練習は小学校英語活動で触れた単語を使い、フォニックスで指導する。	本文を理解し、抑揚に気を付けて読んでいく。
20		本文についての質問に答える。 グリーン先生を紹介する英文をカルタのカードに書く。 You play the piano. You walk. You like skiing. You like music. You play the guitar. You are from Canada. You are Ann Green. 紹介文を疑問文に換えて読み上げ、カルタをする。	暗唱できるように Read and Look up などさまざまな方法で繰り返し練習ができるようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 T or F, Q and A を行いながら、メモした内容を確認できるようにする。 表現の定着を図るために Part1, Part2 の内容からグリーン先生について分かることを英語で表現するようにする。 慣れてきたら、絵札をみて文を作り、英文を取る活動をする。	Do you~? を使い質問することができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

前時において、言語の使用場面がインタビューであることを生徒は理解してきている。そこで、生徒同士でさまざまなインタビュー活動を行うことで、言語材料の定着を図りたい。その際、中には自分のことをあまり表現したがない生徒がいることを考慮し、インタビュー活動に小学校英語活動のごっこ活動を取り入れることで、表現することへの抵抗感を和らげたい。自己表現の苦手な生徒にとって、自分とは別の人物になって活動することは、質問の答えを自由に想像でき、本当のことを答える恥ずかしさがないので、活発にコミュニケーション活動が行えると考えられる。そして自由に表現する楽しさを知った生徒は、これからの自己表現活動へも積極的に取り組むようになると思われる。

1 本時の目標

- ・ I do not ~.の文を理解し、表現できる。
- ・ Part 3 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Do you know the Muffin Man?の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 the の発音に気を付け歌うよう促す。	
20	Part2 の復習をし、グリーン先生へのインタビューの内容を考える。	生徒と先生役にわかれ、ペアで Part2 本文の会話をする。 Part2 の他にグリーン先生にどんな質問をしたいかをペアで考え、ワークシートに書く。 Do you have a sister? Do you know ()? I like Italian food. How about you? など	発想を広げるために、教科書は閉じて会話を行うようにする。 ピクチャーカードやフラッシュカードで、活動を助けるようにする。 若葉中の生徒になりきりグリーン先生にさらに聞いてみたい質問を書くようにする。 表現を広げるために、小学校英語活動で触れた表現も質問に使うようにする。 ペアで相談しながら書くことでアイデアを交換できるようにする。	
15	Part3 の内容を理解し、I do not ~.の用法を知る。	Part3 の内容を聞き取る。 Part3 の新出単語を練習し、w の読み取りと書き取りの練習をする。 water, window, wall 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	どんな内容が質問されているかを、自分たちの質問と比べて聞き取れるように教科書は閉じるよう伝える。 分かったことをメモするよう伝える。 意味とつづり、読み方が定着するように、フラッシュカードを用いる。 want, walk の w の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 暗唱できるように Read and Look up などさまざまな方法で練習を行うようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 T or F, Q and A を行いながら、メモした内容を確認できるようにする。 否定文の使い方を説明し、理解できるようにする。	本文を理解し、抑揚に気を付けて読んでいく。
10	I do not ~.の形を使い、インタビュー活動ができる。	グリーン先生への質問を検討する。 ペアでグリーン先生と生徒役になり、インタビューを行い発表する。	本文と同じ質問を考えた場合は修正し、本文をヒントに新たな質問も加えるように伝える。 グリーン先生役になった場合は、想像力を働かせて自由に質問に答えてよいことを伝える。 慣れてきたら「何でも否定する先生」という設定で行うようにする。 グリーン先生役の友達の応答を聞くことで、いろいろな考え方があることに気付けるようにする。	先生役になって答えたり、生徒役になって質問したりしている。